





地震防災対策度チェック



家具・家電類には転倒・移動・落下防止器具を取り付けている


窓ガラスには飛散防止フィルムを貼っている 

出入口や通路など避難経路となる場所付近へ物を置いていない

屋根瓦やアンテナなど建物付属物の老朽化による落下の危険性はない 


ブロック塀や門柱の老朽化による崩壊の危険性はない


ベランダの植木鉢等は落下しないよう固定されている

就寝中などの備えとしてスニーカーや靴を身近に置いている 

住まいは1981年6月以降に建築された建物である

感震ブレーカー（揺れを感知するとブレーカーを遮断する装置）を設置している

消火器具の備え付けがあり、使用期限内のものである 

火災警報器が設置されていて正常に稼働する 

プロパンガスのボンベは転倒しないようチェーンなどで固定している


※都市ガス使用やオール電化住宅である場合などはチェックをつけてください

非常持ち出し品は備え付けされていて、必要な品がそろっている


非常持ち出し品の保存状態や使用期限は問題ない

災害時における家族間での安否確認方法は確立されている

電気ブレーカーの落とし方、水道・ガスの元栓の閉め方を把握している

自宅付近の避難場所を把握している 

避難場所までのルートを実際に歩いたことがある

防災・ハザードマップから地域の危険度を把握している 

地震保険に加入している

チェックの合計数

17~20コ
非常に高い

地震に対して備えがされています。

13~16コ
高い

多くの対策が講じられていて安心感があります。

9~12コ
普通

基本的な対策は講じられていますが、十分ではありません。

5~8コ
低い

対策がまだまだ不足しています。未チェックの項目は早めに対策しましょう。

0~4コ
非常に低い

対策がほとんどとられていない状態で、自分自身だけでなく他人にケガをさせる恐れがあります。